

理論訓示 第5回 パズル道場の3本柱② 懸賞問題

今回は、パズル道場の三つの柱の一つである、懸賞問題について詳しく説明します。懸賞問題の目的とは、粘り強さのトレーニングです。この懸賞問題というのは、ローテク問題の中の難しい問題を選んでいきます。ローテク問題は別の言い方で、根性問題とも言います。ローテク問題というのは特別な知識や公式や解き方、そういうものを覚えてなくてもその場で考えて、あーでもない、こーでもないといろんなやり方を考えて挑戦すれば、なんとか答えにたどり着ける場合があります。これがローテク問題です。

粘り強さをトレーニングする上では、このローテク問題、そしてやや難しい問題。これをするのが一番いいのです。そのほとんどの問題は中学入試で過去に出題された問題、が選ばれていますから中学入試の対策にもなっています。

そして、この懸賞問題のやり方として重要なことがあります。いつも以上に時間をかけるということです。一つの問題を何度も何度も少しずつでいいですから、時間をかけて間をあけて挑戦する。これは授業では絶対にできないことです、時間がないですから。このようにやるのが、この懸賞問題の目的なのです。授業中にちょっとやって、もう時間がないからといって、多分、こんな感じかななんて適当に考えて答えを入れちゃう。そんなやり方をするんだったらやらないほうがいいです、時間の無駄です。

懸賞問題のやり方、これは絶対に間違わないでくださいね。たった一問やったぐらいでは、ほとんど効果はありません。でも、月に一問、こういう時間を1年間、2年間、3年間繰り返したときには通常の授業では絶対身に付くことができないすごい力、思考力ですね、考える力。難しい問題を解く力ができます。

それでは、頑張ってください。